ELECOM

セキュリティソフト
PASS(Password Authentication Security System) × AES

ユーザーズマニュアル

本ユーザーズマニュアルは、USB メモリで使用するセキュリティソフト「PASS(Password Authentication Security System) × AES」を利用して、データを保護する方法について説明しています。ご使用になる前によくお読みください。

ご使用にあたって 2

Windows で「PASS × AES」を使用する 3

「PASS × AES」を使用する前に 3
「PASS × AES」を使用してデータを保護する 4
「PASS × AES」の設定を変更する 10

Mac で「PASS × AES」を使用する 16

「PASS × AES」を使用する前に 16
「PASS × AES」を使用してデータを保護する 18
「PASS × AES」の設定を変更する 26

動作環境とユーザーサポート 32

動作環境 32
ユーザーサポートについて 32

- セキュリティソフト「PASS × AES」について、消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。
  誤って削除するとセキュリティソフト「PASS × AES」が使用できなくなりますので、注意してください。
- 大切なデータは万一の場合にそなえ、他の記憶媒体などに、定期的にバックアップされることをお勧めします。
- パソコンの電源が入った状態で、USB メモリをパソコンから取り外す際には、「PASS フォルダ」を隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
  「「PASS フォルダ」を隠す」を参照してください。
  無理に取り外すと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。
- 消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 「PASS フォルダ」の場所を USB メモリ内にした場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。
- 暗号化 / 復号化の際にはデータとは別に、同じ容量の作業領域を USB メモリ内に確保する必要があります。
  保存するデータが 1GB の場合、1GB(データ) +1GB(作業領域) = 2GB の空き容量が必要です。
- 「PASS フォルダ」の場所をデスクトップにした場合、USB メモリの全容量が使用可能になります。USB メモリ内の空き容量以上の容量のファイルを「PASS フォルダ」に保存すると、エラーメッセージが出て、暗号化できません。
  「PASS フォルダ」内のファイルを減らしたり、USB メモリ内のファイルを PC に移動するなどして USB メモリ内の空き容量を確保してください。
- バージョン 2.0 以降の「PASS」と同時に使用することはできません。

セキュリティソフト「PASS × AES」を使用する場合は、他(当社 / 当社以外すべて)の USB メモリと同時に使用しないでください。「PASS × AES」または他の USB メモリのソフトが誤動作を起こす可能性があります。

「PASS × AES」を使用する前に

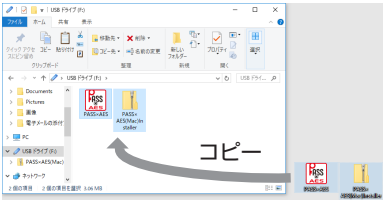
「PASS × AES」は、「PASS × AES」プログラムを USB メモリ内にコピーして使用します。
次の方法で、「PASS × AES」プログラムをお使いの USB メモリ内にコピーしてください。

1 ホームページから USB メモリ用セキュリティソフト「PASS × AES」をパソコンのデスクトップ上にダウンロードします。

2 ダウンロードしたファイルを解凍してください。
「PASS × AES(.exe)」と「PASS × AES(Mac)Installer(.zip)」、「readme(.txt)」の 3 個のファイルが現れます。

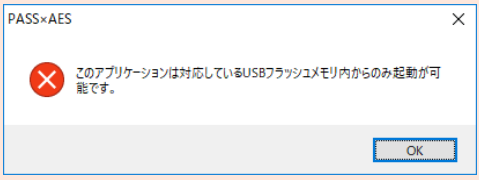
3 お使いの USB メモリを認識している USB ドライブまたはリムーバブルディスクをダブルクリックし、このフォルダ内に「PASS × AES(.exe)」と「PASS × AES(Mac)Installer(.zip)」をコピーします。
「PASS × AES(.exe)」と「PASS × AES(Mac)Installer(.zip)」、「readme(PASSxAES)(.txt)」の 3 個のファイルが現れます。

「PASS × AES(Mac)Installer(.zip)」は Mac 用のインストーラーです。Mac で使用する場合は、「Mac で「PASS × AES」を使用する」をお読みください。



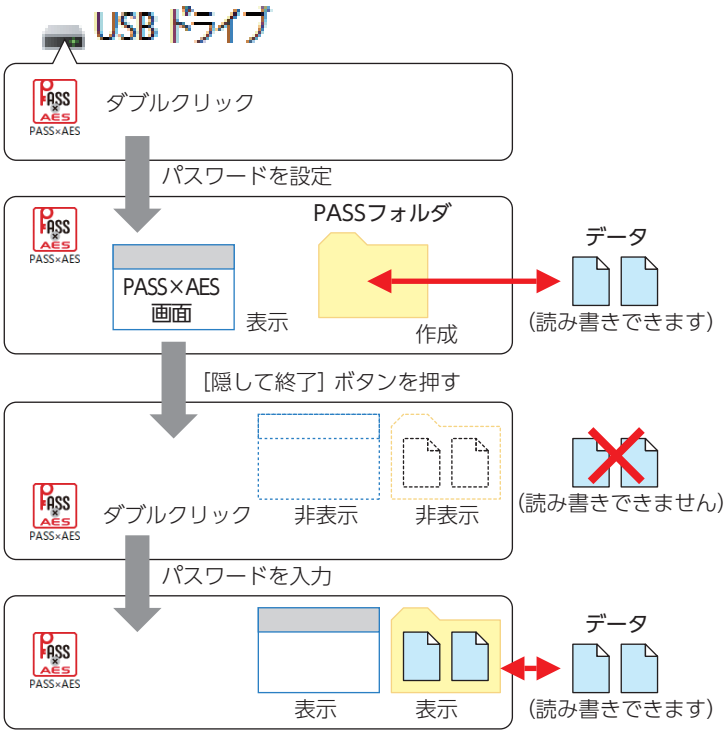
「PASS」をご使用の場合
「PASS(.exe)」と「PASS.app フォルダ」を一旦削除してから、「PASS × AES(.exe)」と「PASS × AES.app フォルダ」をコピーしてください。パスワード、パスワードレスの設定は引き継がれます。

必ず USB メモリ内にコピーした「PASS × AES(.exe)」を実行してください。パソコンのデスクトップやフォルダからは実行できません。



「PASS × AES」を使用してデータを保護する

「PASS × AES」を使用して USB メモリ内に「PASS フォルダ」を作成します。そのフォルダにデータを保存し、隠す（非表示にする）ことで、データを保護することができます。



- 「PASS フォルダ」は USB メモリ内またはパソコンのデスクトップに作成できます。パソコンのデスクトップに作成した場合、[隠して終了] ボタンを押して終了すると USB メモリ内に自動的に移動し、USB メモリ内で保護されます。
- 「PASS フォルダ」は Windows パソコン／Mac 共通で使用できます。

正しいパスワードを入れることができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して、当社は一切の責任を負いません。また、一切の保証をいたしません。

セキュリティソフト「PASS × AES」では、「PASS フォルダ」内のみが保護対象となります。「PASS フォルダ」以外にあるデータは保護されません。また、開くごとにパスワードを入力する必要はありません。

「PASS フォルダ」を作成する

「PASS × AES」をはじめて起動したときは、USB メモリ内に「PASS フォルダ」を作成します。

作成した「PASS フォルダ」を削除した場合も、次の手順で作成し直してください。

1 「PC」、「コンピューター」などから USB メモリをダブルクリックします。

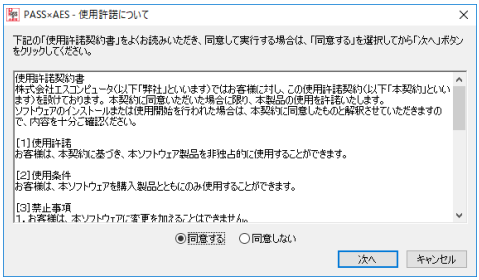
例えば、パソコンの最後のドライブが E の場合、「USB ドライブ (F:)」または「リムーブバルディスク (F:)」と表示されます。

2 USB メモリ内の「PASS × AES(.exe)」をダブルクリックします。

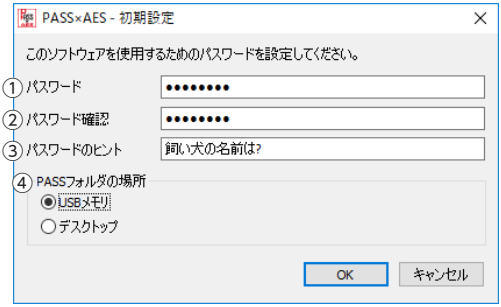
初期設定画面が表示されます。

PASS×AES

はじめて起動したときは、「使用許諾書」の画面が表示されます。内容をよくお読みになり許諾をいただいた上で「同意する」を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。



3 各項目を入力します。



①パスワード

任意のパスワードを半角英数字 15 文字以内で入力します。

②パスワード確認

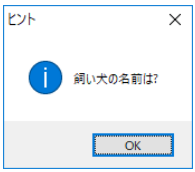
①で入力したパスワードを半角英数字 15 文字以内で再度入力します。

③パスワードのヒント

パスワードを忘れたときに、思い出す手がかりになるようなヒントを 全角 / 半角 15 文字以内で入力します。

入力しなくてもかまいません。

設定すると、認証画面の [ヒント ...] ボタンをクリックして、設定したパスワードのヒントを表示できます。



解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

④ PASS フォルダの場所
「PASS フォルダ」の場所を選択します。
「PASS フォルダ」の場所を USB メモリにした場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。「PASS フォルダ」の場所をデスクトップにした場合、USB メモリの全容量が使用可能になります。

「PASS フォルダ」の場所は、後で変更できます。
「「PASS × AES」の設定を変更する」を参照してください。

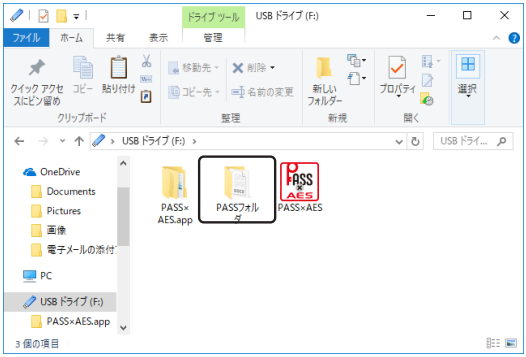
4 [OK] ボタンをクリックします。
USB メモリ内またはデスクトップにセキュリティフォルダ「PASS フォルダ」が作成されます。
また、PASS × AES 画面が表示されます。

「PASS フォルダ」は Windows パソコン／ Mac 共通で使用できます。

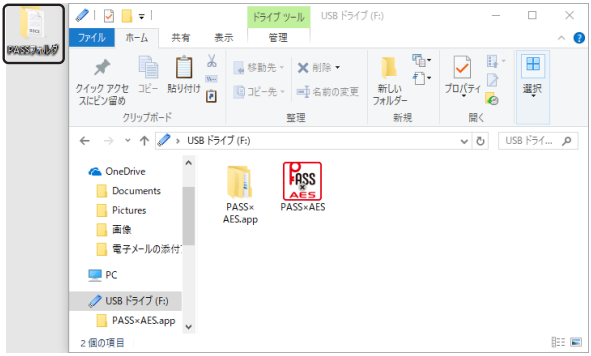
■「PASS フォルダ」

この「PASS フォルダ」に保存したデータを保護することができます。

「PASS フォルダ」が「USB メモリ」のとき



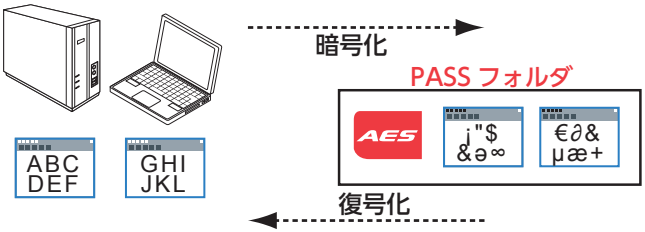
「PASS フォルダ」が「デスクトップ」のとき



- フォルダ名は変更できます。
- 「PASS フォルダ」の場所をデスクトップにした場合、［隠して終了］ボタンを押して終了すると USB メモリ内に自動的に移動し、USB メモリ内で保護されます。
- ご使用環境により、USB メモリ内に「ごみ箱」が表示されますが、「PASS × AES」の仕様です。異常ではありません。

■「PASS フォルダ」内のデータの暗号化

「PASS フォルダ」に保存されたデータは暗号化して保存されます。データそのものを暗号化していますので、USB メモリを分解して直接データを取り出そうとしても、そのままでは内容を閲覧することはできません。
暗号化方式には、米国政府標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES 方式(256bit)」を採用しています。

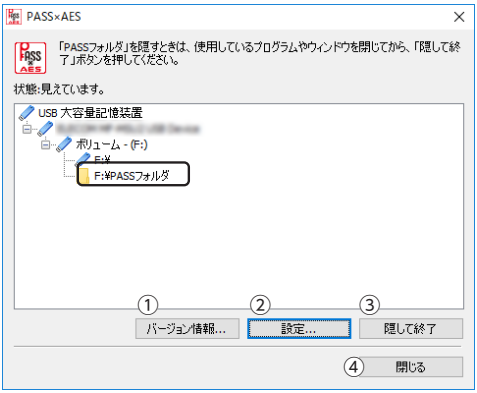


暗号化されるのは「PASS フォルダ」に保存したデータのみです。

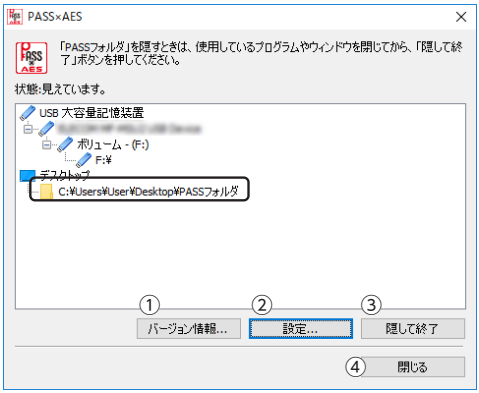
■PASS × AES 画面

この PASS × AES 画面から「PASS フォルダ」を隠したり、「PASS × AES」の設定を変更したりすることができます。

「PASS フォルダ」が「USB メモリ」のとき



「PASS フォルダ」が「デスクトップ」のとき



① [バージョン情報 ...] ボタン
クリックすると、バージョン情報が表示されます。

② [設定 ...] ボタン
「「PASS × AES」の設定を変更する」を参照してください。

③ [隠して終了] ボタン
「「PASS フォルダ」を隠す」を参照してください。

④ [閉じる] ボタン
クリックすると、PASS × AES 画面を閉じます。ただし、「PASS フォルダ」は読み書きできる状態です。

「PASS フォルダ」を隠す

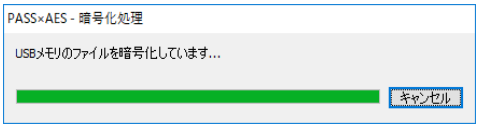
「PASS フォルダ」を隠して（非表示にして）、USB メモリ内から見えなくします。「PASS フォルダ」のデータが読み書きできなくなります。

パソコンの電源が入った状態で、USB メモリをパソコンから取り外す際には、「PASS フォルダ」を隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
その後、タスクトレイまたは通知領域上で「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
無理に取り外しますと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。

1 USB メモリ内から起動しているプログラムやウィンドウを閉じます。

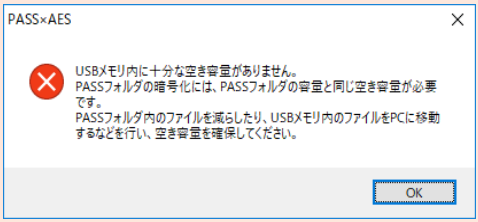
2 PASS × AES 画面で［隠して終了］ボタンをクリックします。

3 「PASS フォルダ」内のデータを暗号化して、「PASS フォルダ」を見えなくします。



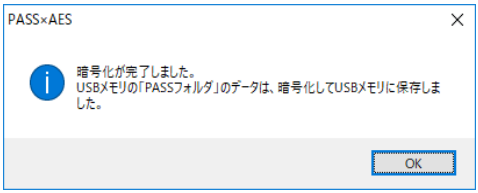
「PASS フォルダ」を表示しているときに、PASS × AES 画面が表示されていない場合は、USB メモリ内の「PASS × AES(.exe)」をダブルクリックするか、タスクトレイまたは通知領域の PASS AES アイコンをクリックすると、PASS × AES 画面が表示されます。

- 暗号化機能を使用する場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。
  暗号化 / 復号化の際にはデータとは別に、同じ容量の作業領域を USB メモリ内に確保する必要があります。
  保存するデータが 1GB の場合、1GB（データ）+1GB（作業領域）= 2GB の空き容量が必要です。
- 「PASS フォルダ」の場所をデスクトップにした場合、USB メモリの全容量が使用可能になります。USB メモリ内の空き容量以上の容量のファイルを「PASS フォルダ」に保存すると、エラーメッセージが出て、暗号化できません。



「PASS フォルダ」内のファイルを減らしたり、USB メモリ内のファイルを PC に移動するなどして USB メモリ内の空き容量を確保してください。

4 暗号化が完了すると、次のメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。



「PASS フォルダ」および PASS × AES 画面を表示する

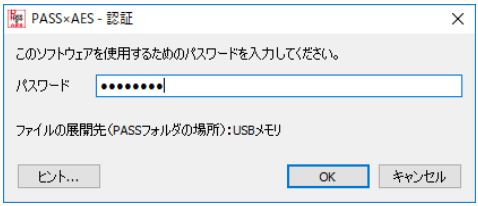
「PASS フォルダ」を表示してデータを読み書きする場合や、PASS × AES 画面を表示して「PASS × AES」の設定を変更する場合は、次の手順で「PASS × AES」を起動します。

1 USB メモリ内の「PASS × AES(.exe)」をダブルクリックします。

認証画面が表示されます。

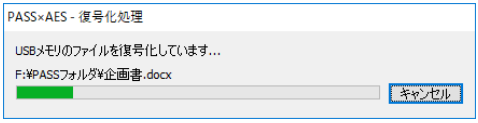
パスワードレスとして登録しているパソコンに接続している場合は、パスワードを設定していても認証画面は表示されず、「PASS × AES」が起動します。「パスワードを入力せずに「PASS × AES」を起動する」を参照してください。

2 「パスワード」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

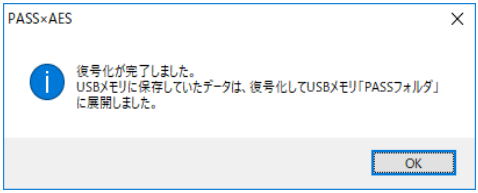


[ヒント ...] ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

「PASS フォルダ」内の暗号化されたデータを復号化します。



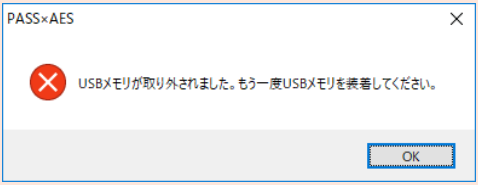
3 暗号化が完了すると、次のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



USB メモリ内またはデスクトップに「PASS フォルダ」が表示されます。
また、PASS × AES 画面が表示されます。

「PASS × AES」を起動したときに、PASS × AES 画面が表示されないように設定することもできます。「「PASS × AES」起動時に PASS × AES 画面を表示しない」を参照してください。

USB メモリを取り外すときは、「PASS フォルダ」を隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。



「PASS × AES」の設定を変更する

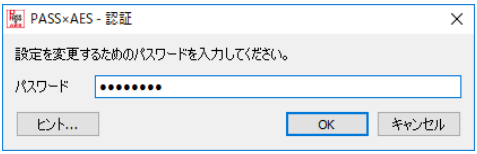
「PASS × AES」の設定を変更するときは、次の手順で設定画面を表示し、各設定を変更します。

1 **PASS × AES 画面の［設定 ...］ボタンをクリックします。**

認証画面が表示されます。

PASS × AES 画面が表示されていない場合は、「「PASS フォルダ」および PASS × AES 画面を表示する」を参照してください。

2 **「パスワード」を入力し、［OK］ボタンをクリックします。**



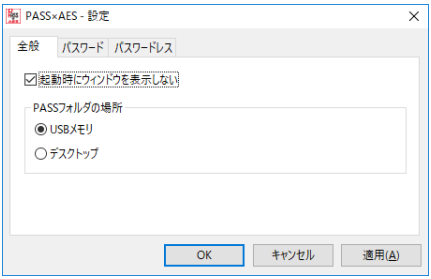
［ヒント ...］ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

設定画面が表示されます。
各設定の詳細は、以降を参照してください。

「PASS × AES」起動時に PASS × AES 画面を表示しない

「PASS × AES」を起動したときに、PASS × AES 画面を表示しないように設定できます。

1 **設定画面を表示し、［全般］タブで「起動時にウィンドウを表示しない」にチェックを入れます。**

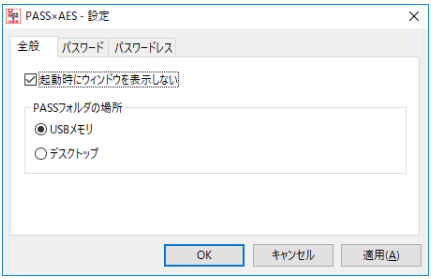


2 **設定画面の［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。**

「PASS フォルダ」の場所を変更する

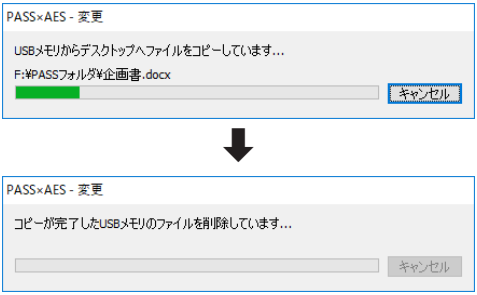
「PASS フォルダ」の場所を変更します。

1 設定画面を表示し、[全般] タブの「PASS フォルダの場所」で「USB メモリ」または「デスクトップ」を選択します。



2 設定画面の [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。

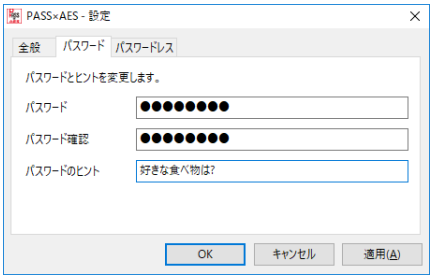
3 変更した場所に「PASS フォルダ」がコピーされ、元の場所の「PASS フォルダ」は削除されます。



パスワードを変更する

現在設定しているパスワードとヒントを変更できます。

1 **設定画面を表示し、[パスワード]タブをクリックします。**



2 **各項目を入力します。**

詳細は、「[PASS フォルダ]を作成する」の手順**3**を参照してください。

3 **設定画面の[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックします。**

パスワードを入力せずに「PASS × AES」を起動する

いつもご使用になっているご自分のパソコンなどをパスワードレスパソコンとしてあらかじめ登録しておくと、パスワードを入力しなくても「PASS × AES」を起動できます。
他のパソコンではデータを盗み見されないように保護し、ご自分のパソコンではすぐに読み書きますので、頻繁にデータをやり取りする場合などに便利です。

登録したパソコンにお使いの USB メモリを接続した場合にのみ、「PASS × AES(.exe)」をダブルクリックするだけで、すぐに PASS × AES 画面と「PASS フォルダ」が表示できます。

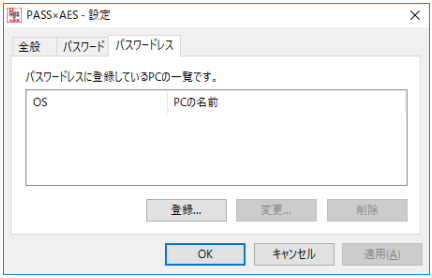
■パスワードレスパソコンを登録する

Windows パソコンと Mac を合わせて 3 台まで登録できます。

1 登録するパソコンにお使いの USB メモリを接続します。

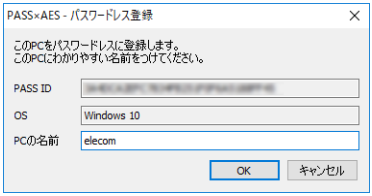
お使いの USB メモリを接続したパソコンのみ登録することができます。必ず登録するパソコンに「PASS × AES」をコピーした USB メモリを接続し、以降の操作を行ってください。

2 設定画面を表示し、設定画面の[パスワードレス]タブをクリックします。



3 [登録 ...]ボタンをクリックします。
パスワードレス登録画面が表示されます。

4 「PC の名前」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
Windows の情報が自動的に入力されますが、任意の名前に変更できます。

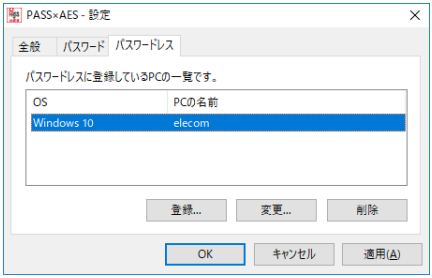


5 設定画面の [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。

■ 登録したパスワードレスパソコンの名前を変更する

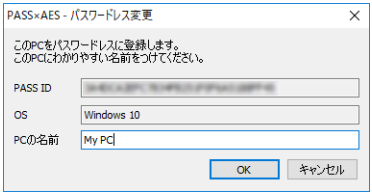
登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも変更できます。

1 設定画面を表示し、[パスワードレス] タブで変更するパスワードレスパソコンの「PC の名前」を選択します。



2 [変更 ...] ボタンをクリックします。
パスワードレス変更画面が表示されます。

3 「PC の名前」を変更し、[OK] ボタンをクリックします。

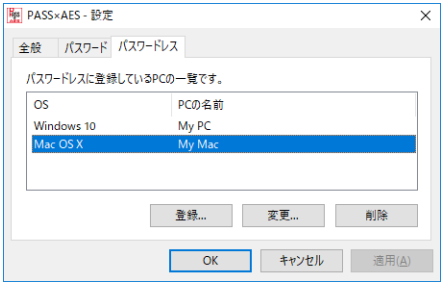


4 設定画面の [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。

■登録したパスワードレスパソコンを削除する

登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも削除できます。

1 **設定画面を表示し、[パスワードレス]タブで削除するパスワードレスパソコンの「PC の名前」を選択します。**



2 **[削除]ボタンをクリックします。**
確認画面が表示されます。

3 **[はい]ボタンをクリックします。**

4 **設定画面の[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックします。**

「PASS × AES」を使用する前に

「PASS × AES」は、「PASS × AES」プログラムを USB メモリ内にコピーして使用します。
次の方法で、「PASS × AES」プログラムをお使いの USB メモリ内にコピーしてください。

1 ホームページから USB メモリ用セキュリティソフト「PASS × AES」をパソコンのデスクトップ上にダウンロードします。

2 ダウンロードしたファイルを解凍します。
「PASS × AES(Mac)Installer.zip」と「PASS × AES.exe」、「readme(PASSxAES).txt」の 3 個のファイルが現れます。

3 「PASS × AES(Mac)Installer.zip」を解凍します。
「PASS × AESInstaller」が現れます。

4 「PASS × AESInstaller」をダブルクリックします。
デスクトップに Mac 用のプログラムファイル「PASS × AES」が配置されます。

以下の画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。

5 [OK] ボタンをクリックします。

6 お使いの USB メモリのマウントされているアイコンをダブルクリックし、このフォルダ内に「PASS × AES」を、解凍したフォルダから「PASS × AES.exe」をコピーします。

「PASS × AES(.exe)」と「PASS × AES(Mac)Installer(.zip)」、「readme(.txt)」の 3 個のファイルが現れます。

「PASS × AES.exe」は Windows で使用するプログラムです。Windows で使用する場合は、「Windows で「PASS × AES」を使用する」をお読みください。

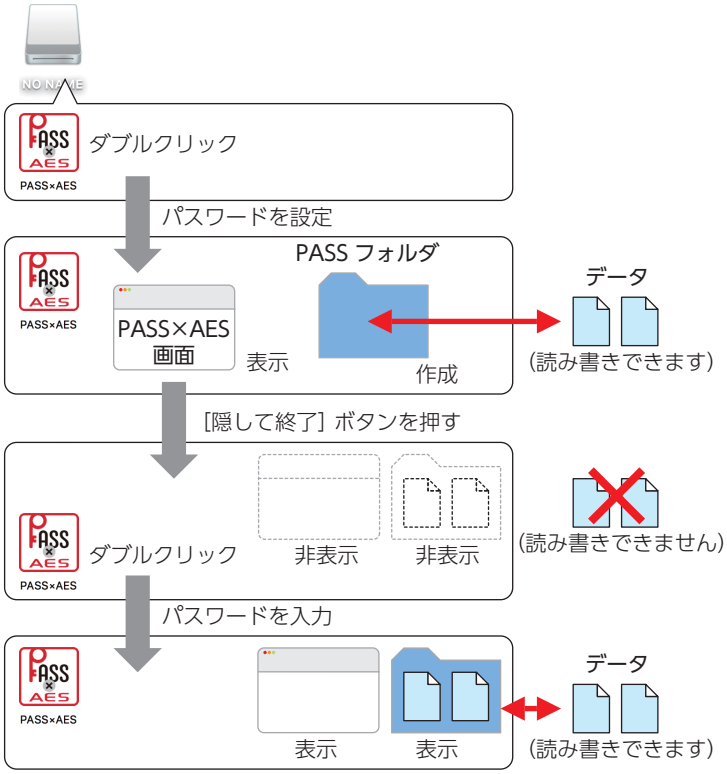
「PASS」をご使用の場合

「PASS」と「PASS.exe」を一旦削除してから、「PASS × AES」と「PASS × AES.exe」をコピーしてください。パスワード、パスワードレスの設定は引き継がれます。

必ず USB メモリ内にコピーした「PASS × AES」を実行してください。Mac のデスクトップやフォルダからは実行できません。

「PASS × AES」を使用してデータを保護する

「PASS × AES」を使用して USB メモリ内に「PASS フォルダ」を作成します。そのフォルダにデータを保存し、隠す（非表示にする）ことで、データを保護することができます。



- 「PASS フォルダ」は USB メモリ内またはパソコンのデスクトップに作成できます。パソコンのデスクトップに作成した場合、[隠して終了] ボタンを押して終了すると USB メモリ内に自動的に移動し、USB メモリ内で保護されます。
- 「PASS フォルダ」は Mac ／ Windows パソコン共通で使用できます。

正しいパスワードを入れることができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して、当社は一切の責任を負いません。また、一切の保証をいたしません。

セキュリティソフト「PASS × AES」では、「PASS フォルダ」内のみが保護対象となります。「PASS フォルダ」以外にあるデータは保護されません。また、開くごとにパスワードを入力する必要はありません。

「PASS フォルダ」を作成する

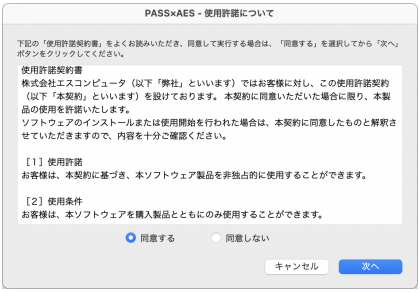
「PASS × AES」をはじめて起動したときは、USB メモリ内に「PASS フォルダ」を作成します。

作成した「PASS フォルダ」を削除した場合も、次の手順で作成し直してください。

1 デスクトップにマウントされた USB メモリをダブルクリックします。

2 USB メモリ内の「PASS × AES」をダブルクリックします。
初期設定画面が表示されます。

はじめて起動したときは、「使用許諾書」の画面が表示されます。内容をよくお読みになり許諾をいただいた上で「同意する」を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。



3 各項目を入力します。

①パスワード
任意のパスワードを半角英数字 15 文字以内で入力します。

②パスワード確認
①で入力したパスワードを半角英数字 15 文字以内で再度入力します。

③パスワードのヒント
パスワードを忘れたときに、思い出す手がかりになるようなヒントを全角 / 半角 15 文字以内で入力します。
入力しなくてもかまいません。
設定すると、認証画面の [ヒント] ボタンをクリックして、設定したパスワードのヒントを表示できます。

解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

④ PASS フォルダの場所
「PASS フォルダ」の場所を選択します。
「PASS フォルダ」の場所を USB メモリにした場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。「PASS フォルダ」の場所をデスクトップにした場合、USB メモリの全容量が使用可能になります。

「PASS フォルダ」の場所は、後で変更できます。
「「PASS × AES」の設定を変更する」を参照してください。

4 **[OK] ボタンをクリックします。**
USB メモリ内にセキュリティフォルダ「PASS フォルダ」が作成されます。
また、PASS × AES 画面が表示されます。

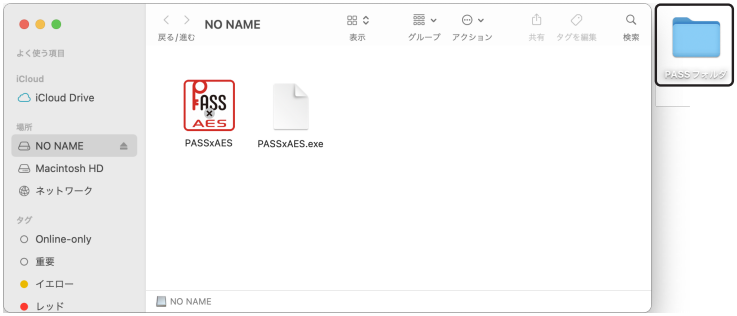
「PASS フォルダ」は Mac ／ Windows パソコン共通で使用できます。

■「PASS フォルダ」

この「PASS フォルダ」に保存したデータを保護することができます。

「PASS フォルダ」が「USB メモリ」のとき

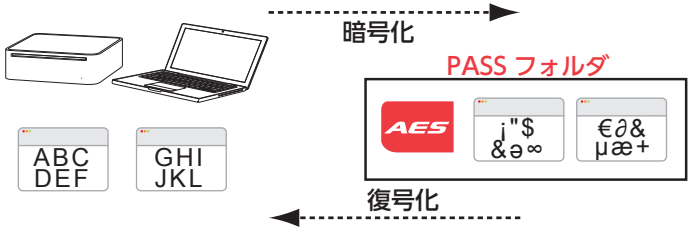
「PASS フォルダ」が「デスクトップ」のとき



- フォルダ名は変更できます。
- 「PASS フォルダ」の場所をデスクトップにした場合、[隠して終了] ボタンを押して終了すると USB メモリ内に自動的に移動し、USB メモリ内で保護されます。

■「PASS フォルダ」内のデータの暗号化

「PASS フォルダ」に保存されたデータは暗号化して保存されます。データそのものを暗号化していますので、USB メモリを分解して直接データを取り出そうとしても、そのままでは内容を閲覧することはできません。
暗号化方式には、米国政府標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES 方式（256bit）」を採用しています。



暗号化されるのは「PASS フォルダ」に保存したデータのみです。

■PASS × AES 画面

この PASS × AES 画面から「PASS フォルダ」を隠したり、「PASS × AES」の設定を変更したりすることができます。

「PASS フォルダ」が「USB メモリ」のとき

「PASS フォルダ」が「デスクトップ」のとき

① [バージョン情報 ...] ボタン
クリックすると、バージョン情報が表示されます。

② [設定 ...] ボタン
「「PASS × AES」の設定を変更する」を参照してください。

③ [隠して終了] ボタン
「「PASS フォルダ」を隠す」を参照してください。

④ [閉じる] ボタン
クリックすると、PASS × AES 画面を閉じます。ただし、「PASS フォルダ」は読み書きできる状態です。

「PASS フォルダ」を隠す

「PASS フォルダ」を隠して(非表示にして)、USB メモリ内から見えなくします。「PASS フォルダ」のデータが読み書きできなくなります。

パソコンの電源が入った状態で、USB メモリをパソコンから取り外す際には、「PASS フォルダ」を隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
その後、ドライブアイコンをゴミ箱にドラッグして、デスクトップから USB メモリのドライブアイコンが消えたことを確認して、USB メモリを取り外してください。
無理に取り外しますと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。

1 USB メモリ内から起動しているプログラムやウィンドウを閉じます。

2 PASS × AES 画面で[隠して終了]ボタンをクリックします。

3 「PASS フォルダ」内のデータを暗号化して、「PASS フォルダ」を見えなくします。

「PASS フォルダ」を表示しているときに、PASS × AES 画面が表示されていない場合は、USB メモリ内の「PASS × AES」をダブルクリックするか、Dock の アイコンをクリックすると、PASS × AES 画面が表示されます。

- 暗号化機能を使用する場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。
  暗号化 / 復号化の際にはデータとは別に、同じ容量の作業領域を USB メモリ内に確保する必要があります。
  保存するデータが 1GB の場合、1GB(データ) +1GB(作業領域) = 2GB の空き容量が必要です。
- 「PASS フォルダ」の場所をデスクトップにした場合、USB メモリの全容量が使用可能になります。USB メモリ内の空き容量以上の容量のファイルを「PASS フォルダ」に保存すると、エラーメッセージが出て、暗号化できません。
  「PASS フォルダ」内のファイルを減らしたり、USB メモリ内のファイルを PC に移動するなどして USB メモリ内の空き容量を確保してください。

4 暗号化が完了すると、次のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。

「PASS フォルダ」および PASS × AES 画面を表示する

「PASS フォルダ」を表示してデータを読み書きする場合や、PASS × AES 画面を表示して「PASS × AES」の設定を変更する場合は、次の手順で「PASS × AES」を起動します。

1 **USB メモリ内の「PASS × AES」をダブルクリックします。**

認証画面が表示されます。

PASS×AES

パスワードレスとして登録しているパソコンに接続している場合は、パスワードを設定していても認証画面は表示されず、「PASS × AES」が起動します。「パスワードを入力せずに「PASS × AES」を起動する」を参照してください。

2 **「パスワード」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。**

[ヒント] ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

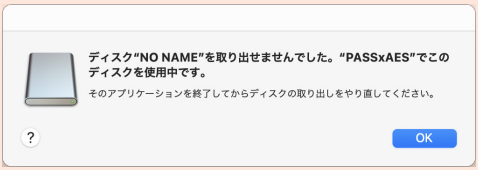
「PASS フォルダ」内の暗号化されたデータを復号化します。

3 **暗号化が完了すると、次のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。**

USB メモリ内またはデスクトップに「PASS フォルダ」が表示されます。
また、PASS × AES 画面が表示されます。

「PASS × AES」を起動したときに、PASS × AES 画面が表示されないように設定することもできます。「「PASS × AES」起動時に PASS × AES 画面を表示しない」を参照してください。

USB メモリを取り外すときは、「PASS フォルダ」を隠してください。隠さないで取り外そうとすると、エラーメッセージが表示されます。



「PASS × AES」の設定を変更する

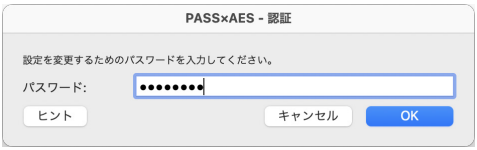
「PASS × AES」の設定を変更するときは、次の手順で設定画面を表示し、各設定を変更します。

1 PASS × AES 画面の［設定 ...］ボタンをクリックします。

認証画面が表示されます。

PASS × AES 画面が表示されていない場合は、「「PASS × AES」起動時に PASS × AES 画面を表示しない」を参照してください。

2 「パスワード」を入力し、［OK］ボタンをクリックします。



［ヒント］ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

設定画面が表示されます。
各設定の詳細は、以降を参照してください。

「PASS × AES」起動時に PASS × AES 画面を表示しない

「PASS × AES」を起動したときに、PASS × AES 画面を表示しないように設定できます。

1 設定画面を表示し、［全般］タブで「起動時にウィンドウを表示しない」にチェックを入れます。

2 設定画面の［OK］ボタンをクリックします。

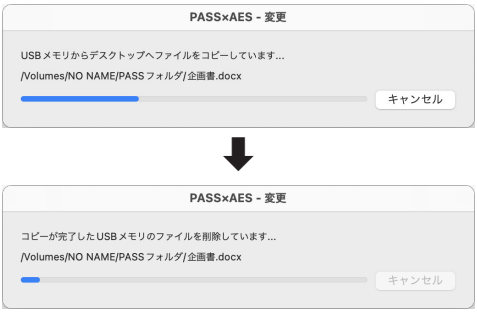
「PASS フォルダ」の場所を変更する

「PASS フォルダ」の場所を変更します。

1 設定画面を表示し、[全般] タブの「PASS フォルダの場所」で「USB メモリ」または「デスクトップ」を選択します。

2 設定画面の [OK] ボタンをクリックします。

3 変更した場所に「PASS フォルダ」がコピーされ、元の場所の「PASS フォルダ」は削除されます。



パスワードを変更する

現在設定しているパスワードとヒントを変更できます。

1 **設定画面を表示し、[パスワード]タブをクリックします。**

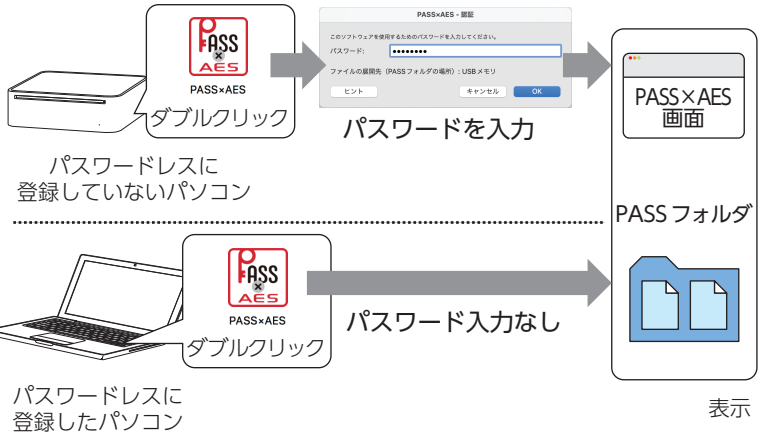
2 **各項目を入力します。**

詳細は、「[PASS フォルダ]を作成する」の手順**3**を参照してください。

3 **設定画面の[OK]ボタンをクリックします。**

パスワードを入力せずに「PASS × AES」を起動する

いつもご使用になっているご自分のパソコンなどをパスワードレスパソコンとしてあらかじめ登録しておくと、パスワードを入力しなくても「PASS × AES」を起動できます。
他のパソコンではデータを盗み見されないように保護し、ご自分のパソコンではすぐに読み書きますので、頻繁にデータをやり取りする場合などに便利です。



登録したパソコンにお使いの USB メモリを接続した場合にのみ、「PASS × AES」をダブルクリックするだけで、すぐに PASS × AES 画面と「PASS フォルダ」が表示できます。

■パスワードレスパソコンを登録する

Mac と Windows パソコンを合わせて 3 台まで登録できます

1 登録するパソコンにお使いの USB メモリを接続します。

お使いの USB メモリを接続したパソコンのみ登録することができます。必ず登録するパソコンに「PASS × AES」をコピーした USB メモリを接続し、以降の操作を行ってください。

2 設定画面を表示し、設定画面の［パスワードレス］タブをクリックします。

3 ［登録 ...］ボタンをクリックします。
パスワードレス登録画面が表示されます。

4 「PC の名前」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
Mac の情報が自動的に入力されますが、任意の名前に変更できます。

5 設定画面の [OK] ボタンをクリックします。

■ 登録したパスワードレスパソコンの名前を変更する

登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも変更できます。

1 設定画面を表示し、[パスワードレス] タブで変更するパスワードレスパソコンの「PC の名前」を選択します。

2 [変更 ...] ボタンをクリックします。
パスワードレス変更画面が表示されます。

3 「PC の名前」を変更し、[OK] ボタンをクリックします。

4 設定画面の [OK] ボタンをクリックします。

■登録したパスワードレスパソコンを削除する

登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも削除できます。

1 設定画面を表示し、[パスワードレス]タブで削除するパスワードレスパソコンの「PC の名前」を選択します。

2 [削除]ボタンをクリックします。
確認画面が表示されます。

3 [OK]ボタンをクリックします。

4 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

動作環境

USB3.2 (Gen1) /USB3.1(Gen1) /USB3.0/USB2.0 インターフェースを装備し、Windows11/10/8.1/7 が動作する Windows パソコンおよび macOS Monterey 12/macOS Big Sur 11/macOS Catalina10.15/macOS Mojave10.14 が動作する Mac
※機種によっては動作しない場合があります。

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ (ナビダイヤル)】
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL：0570-084-465　　FAX：0570-050-012
[受付時間]
10:00 ～ 19:00　年中無休

セキュリティソフト
PASS（Password Authentication Security System）× AES
ユーザーズマニュアル
2022年3月1日　第6版

・本取扱説明書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
・本取扱説明書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
・本取扱説明書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、弊社総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
・Windows および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
・Mac、macOS は、合衆国およびその他の国々で登録されているアップル社の商標です。
・その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©2009-2022 ELECOM Co., Ltd. All Rights Reserved.